

学校再編準備委員会(第1回総務部会) 結果概要

■ 開催日時 令和6年5月16日(木) 午後7時から午後8時30分まで

■ 開催場所 合川小学校 レインボーホール

■ 出席者 【委員】9人

【教育委員会事務局】5人

参事兼教育政策課長

教育政策課副参事兼政策推進グループリーダー

政策推進グループ (3人)

■ 傍聴者 0人

■ 事項

1 開会(教育政策課長挨拶、出席者紹介)

2 協議事項

(1) 「新たな小学校」の校名について 資料1

- ・ 校名候補の選定方法について

→資料に基づき説明。その後、質疑応答及び意見交換。

《質疑応答、意見交換》

(参加者)

- ・ 校名候補の選定とあるが、候補を決めるということか。

(教育委員会事務局)

- ・ 校名は市の条例で定められているため、条例改正までのところは、校名候補として
いる。

(参加者)

- ・ 校名候補は1つに絞るのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 議会に提出する際には1つに絞られている。

(参加者)

- ・ 教育委員会が1つに絞るのか。

(教育委員会事務局)

- ・ そうである。

(参加者)

- ・ 候補に挙がってきた校名を最終的に決めるのは教育委員会か。

(教育委員会事務局)

- ・ 教育委員会の定例会に諮って、議会に提出することになる。

(参加者)

- ・ 令和6年12月の時点で校名候補が1つに決まっている予定ということか。

(教育委員会事務局)

- ・ そうである。

(参加者)

- ・ 令和6年12月に校名候補を決定した上で、令和7年3月の議会に提出するというとか。

(教育委員会事務局)

- ・ そうである。

(参加者)

- ・ 校歌は校名が決まってから決めるのか。

(教育委員事務局)

- ・ そうである。

(参加者)

- ・ スケジュールは大丈夫なのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 校名を公募していく時期が決まったら、並行して校歌や校章をどうしていくかという議論を行っていきたいと考えている。また、校歌が新しくなる場合は、練習も必要と考えている。

(参加者)

- ・ 校歌を子どもたちが覚える期間も踏まえて、スケジュールに入れておいた方がいいと思う。
- ・ 校名の公募方法について、他の自治体がどのように決めているのかがわかる資料がほしい。
- ・ 校名や校歌について、強い気持ちを持っている地元の人たちもいると思う。

(教育委員会事務局)

- ・ 校歌が新しくなる場合の練習期間を考えると、令和7年度の12月頃までには全部固まっている必要があると考えているので、改めてスケジュールを示させていただく。
- ・ 校名の公募方法については、他の自治体の例も踏まえ、後半説明させていただく。

(参加者)

- ・ 校歌は作曲家に頼んで作るのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 様々なパターンがあるので、検討が必要と考えている。

(参加者)

- ・ 細かいスケジュールが心配である。

(教育委員会事務局)

- ・ 今回は校名に限ってのスケジュールを示させてもらったが、令和8年4月までのロードマップを示すよう検討する。

(参加者)

- ・ 他の自治体の事例を参考にするというのも1つの考え方だと思う。

(参加者)

- ・ 昔、中ノ川が天ノ川と呼ばれていたから天名という地区の名前になったと認識しており、合川も天名も郡山も中ノ川を中心に開けていった町だと思う。
- ・ 3つの地区の共通のところを取って、1つの校名にしてはどうか。
- ・ 全く関係ない、例えば〇〇丘のような校名にするのも1つの考え方かもしれない。
- ・ 条件を絞らずに公募するとなると、まとめるのが大変ではないか。

(参加者)

- ・ 公募となると、きちんとまとめるのかが不安である。
- ・ 令和14年の義務教育学校を見据えた方がいいのではないか。

(参加者)

- ・ 郡山小学校でアンケートを行い、郡山という名前を残したいか、残したくないか、どういう方向にしたいか意見を聞いたところ、反対の意見も多かったが、どちらでもないという意見が30%ぐらいあった。
- ・ 校名を考えても、義務教育学校が決まっており、決めた校名が完全になくなるというのは納得できない。何らかの面影が残るのであれば、3校のいいところを取るという考え方もあると思う。
- ・ 校名変更、校章、校歌にどれだけお金がかかるかわからない。
- ・ 校名を義務教育学校に持っていく可能性もあるのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 合川、天名、郡山の3校での学校再編となるので、現時点では義務教育学校を見据えた校名とすることについては、考えていない。

(参加者)

- ・ 考え方に加えたらどうか。

(教育委員会事務局)

- ・ 義務教育学校の開校に向けては、学校再編計画を再度作成し、今回の3つの小学校に加え、栄小学校、天栄中学校の代表の方を入れて、準備委員会を設置しながら準備を進めていきたいと考えている。

(参加者)

- ・ 義務教育学校を踏まえると、教育委員会でもう少し考えた方がいいのではないか。
- ・ 一生懸命決めてもというところがある。例えば天栄小学校でもいいのではないか。

(参加者)

- ・ この3校だけでなく、天栄中学校区の人を入れて、校名などの検討をしてはどうか。

(参加者)

- ・ 津や四日市は学校が統合してそのまま継続しているが、義務教育学校を見据えた2ステップで学校再編を行った事例はあるのか。
- ・ 他の自治体で、3校が統合して1校の名前を校名としてそのまま残しているところもある。
- ・ 義務教育学校が決まっているのであれば、校名を郡山のままにして、校歌などもそのまま使うといった可能性もあるのではないか。

(参加者)

- ・ 費用が何億かかかるという話も聞いているので、数年間しか使わないような校名や校章にお金を使うのであれば、他のことに使ってほしいという意見がある。

(参加者)

- ・ どの地区にも、校名を残してほしいという思いがあると思うが、校名は変えないといけないのか。

(参加者)

- ・ 校名を変えるのは決定事項なのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 計画上は変更する方向になっている。

(参加者)

- ・ 校名を変える前提で話しているが、1つの校名が残っているところもある。
- ・ 1つの校名となると、どこの地区でも揉めたりする可能性があると思うが、それは実際やってみないとわからない。
- ・ 校名を変える場合の費用を計上すれば、校名を変えずに他のところにお金を使ってほしいという意見も出てくるのではないか。
- ・ 公募と投票は分けて行ってほしい。

(参加者)

- ・ どれくらいお金がかかるのかわからないというアンケートの意見もあったので、校名を変更しなければどれくらいになるのかも含め、金額を提示してもらいたい。

(教育委員会事務局)

- ・ 先進的な教育や、3校一緒になって新しい取組を行っていくというところで、新しい小学校として開校することから、校名を変えていく方向で計画に記載している。
- ・ 学校が1つになることで、新たな地域の枠組みもできると思うので、地域の方の思いが入った学校にしていこうというところでも計画に記載している。
- ・ 地域説明会を行ってきた中で、吸収されるとか、上下関係が生まれてしまうのではないかとか、そのような意見もあって、子どもたちがこれまでの小学校区にとらわれずに、安心した気持ちで学校生活を送れるようにといった理由もある。
- ・ 校名の変更について、他の方も意見があればお願いしたい。

(参加者)

- ・ 子どもたちは新しい学校で勉強したいと思うので、新しい校名にするのがいいと思う。

(参加者)

- ・ 事務局の説明にあったところは確かに地元説明会で意見としてあったので、校名を変えることはいいと思うが、義務教育学校があるので、ここのメンバーに栄小学校と天栄中学校の人も入れて議論すればいいと思う。

(参加者)

- ・ なぜ分けてしまったのかがわからない。

(参加者)

- ・ 校名を変えるのであれば、義務教育学校の校名候補にしてもらいたい。

(参加者)

- ・ 義務教育学校が決まっているのに、議論してもという気持ちはある。

(参加者)

- ・ 義務教育学校に繋がる名前で公募するのはどうか。

(参加者)

- ・ 義務教育学校に繋がる校名にしたいという意見がすごく多いことを踏まえ、教育委員会で少し考えてもらったらどうか。

(参加者)

- ・ 天栄中学校は合川の地名が入っていないが、そういったこともある。

(参加者)

- ・ 公募すると今ある学校の名前を書く人もいると思う。

(参加者)

- ・ 例えば、天栄小学校という意見も出ている。
- ・ 義務教育学校も天栄になるのであれば、お金があまりかからないのではないかな。浮いたお金で校舎を綺麗にしてほしいという意見や、お金の使い方が間違っているのではないかなという意見もある。

(参加者)

- ・ この委員会は義務教育学校ではなく、3校の再編が目的であるが、本来なら、今議論しているような形が一番いいと思う。

(参加者)

- ・ せっかく決めるなら、義務教育学校に繋がる校名がいいと思う。
- ・ また同じようなことをするなら、時間の無駄だと思うし、ボランティアで行っている。
- ・ 令和8年の4月開校で、年度末に校名が決まるのでは3か月しかないので、遅いのではないかな。

(教育委員会事務局)

- ・ 校名の決定時期は令和7年の3月を予定しており、開校まではそこから1年ある。

(参加者)

- ・ 子どもたちもストレスを感じる部分はあると思う。
- ・ 残らない幻の学校を卒業するのは可哀そうなので、再編するなら素敵な6年間にしたい。

(参加者)

- ・ そもそも義務教育学校が開校するのか不安な部分がある。

(参加者)

- ・ 西部地区も学校再編に着手しているのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 中日新聞の記事に書かれていた、井田川小学校や庄内小学校、鈴峰中学校は複式学級が発生する可能性があるが、現在、学校再編の計画があるのは天栄中学校区だけなので、西部の地区に着手はしていない。なお、今後学校再編に着手していく可能性はある。
- ・ 毎年20年推計を出して、複式学級が発生する可能性があるかどうかを確認しているが、宅地造成などで、子どもの数が増加し、複式学級が解消される可能性もあれば、転居などで子どもの数が減少し、急に複式学級が出てくる可能性もある。
- ・ 令和5年度の20年推計とスクールバスの調査研究報告書はウェブサイトに掲載している。

(参加者)

- ・ 今回使わなかったお金については、義務教育学校に回せるのではないかな。

(教育委員会事務局)

- ・ これまでの意見で、校名を新しくするという意見は一致していたと思うが、令和14年の義務教育学校を見据えたものにしてほしいという意見が多数あったと思うので、一度持ち帰って検討させていただく。
- ・ 校名を変えていく際の、公募方法について、事務局から説明させていただく。

- ・ 選定方法の確認事項について

→資料に基づき説明。その後、質疑応答及び意見交換。

《質疑応答、意見交換》

(参加者)

- ・ 募集範囲について、合川小学校のフレンズも対象としてほしい。

(参加者)

- ・ フレンズとは何か。

(参加者)

- ・ 校区外から来ている生徒の登校班の名称である。

(教育委員会事務局)

- ・ 本日の意見を踏まえ、義務教育学校を見据えた校名を公募するということであれば、栄小学校と天栄中学校まで募集範囲を広げた方がいいのではないかと考えている。条件付けも可能と考える。

(参加者)

- ・ 条件に違反していた場合は無効にするのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 今後検討が必要と考えている。

(参加者)

- ・ このような校名は駄目というのがあれば例を挙げてほしい。

(教育委員会事務局)

- ・ そういった意見もいただけるとありがたい。

(参加者)

- ・ 1つの案に対する応募数は公表しないのか。

(教育委員会事務局)

- ・ 公表していない自治体もあるということで例示させてもらっている。公表しているところもある。
- ・ 1つの案に対する応募数が多いというのも1つの意見だと思うので、校名を決める際に候補として入れる方向で考えている。

(参加者)

- ・ 義務教育学校を見据えてということであれば、募集対象に栄地区も入れるべきではないか。
- ・ いい加減なことを書く人もいると思うので、応募者の氏名、住所は記入してもらった方がいいと思う。

(参加者)

- ・ 公募は子どもたちも対象とするのか。

(教育委員会事務局)

- ・ そのように考えている。

(参加者)

- ・ 1人1案にしてもらった方がいいと思う。

(教育委員会事務局)

- ・ 例えば、子どもたちの分は、学校で用紙を配って集約するという方法も考えられる。

(参加者)

- ・ 子どもたちの意見もあると思うので、そうしてほしい。

(参加者)

- ・ 子どもたちの意見と地域の意見両方が大事なので、集計する際は分けてもらいたい。

(教育委員会事務局)

- ・ 子どもたちと地域で分けると、それぞれの1位が決まる可能性もある。

(参加者)

- ・ 他の自治体の例で、地域の名前を使用しないとあるが、3校のいいところを取った校名にした方がいいのではないかと意見が地域で結構あったので、一概に使用しないのはどうなのか。

(参加者)

- ・ 公募するなら、条件を付けすぎるのはどうなのか。素直に出してもらったらいいのではないか。

(教育委員会事務局)

- ・ どこまで条件付けをするかというところは検討が必要と考えている。
- ・ 例えば、英語が駄目とか条件付けするのは難しいと考えている。

(参加者)

- ・ 天栄中学校には稲生地区の子どももいるのではないか。

(参加者)

- ・ 義務教育学校はどこの地区でも受け入れることになっているのではないか。

(参加者)

- ・ 応募した人がどこに住んでいるのか本当にわかるのか。どう判断するのか。
- ・ 例えば、海外の人が応募した校名でも、納得する校名ならいいのではないか。
- ・ 対象範囲を限定して、違う地区からの応募だから駄目というのは難しいのではないか。

(参加者)

- ・ モデル校になるのであれば、市内全域から募集してもいいのではないかな。

(参加者)

- ・ 個人としては天栄中学校区が対象でいいのではないかなと思っている。
- ・ 広くしてもよいが、現在は天栄中学校なので、天栄中学校区からの募集でいいと思う。

(参加者)

- ・ 極論にはなるが、今の郡山、天名、合川、栄小学校、天栄中学校に通っている生徒だけの意見では駄目なのかな。

(参加者)

- ・ 令和14年の義務教育学校なので、今通っている生徒だけでなく、地域全域の方がいいのではないかな。

(教育委員会事務局)

- ・ 白子中学校の生徒数が多いので、通学区域の弾力化ということで、稲生地区の子どもたちが天栄中学校に来ていただいている。
- ・ 義務教育学校は市内全域から通えるという方向で考えている。
- ・ 天栄中学校に通っている稲生地区の方については、校名を応募する対象にするべきと考えている。

(参加者)

- ・ 稲生から通っている子どもも、天栄中学校の生徒である。
- ・ 対象範囲についてはよく考える必要があると思う。

(参加者)

- ・ 義務教育学校は鈴鹿市全域から通えるのかな。

(参加者)

- ・ そうだと認識している。

(参加者)

- ・ 鈴鹿市全域から通う可能性があるなら、対象範囲を市内全域にするという考え方もあるのではないかな。

(教育委員会事務局)

- ・ どの地区から来てもらえるかはわからない。

(参加者)

- ・ 興味がある人は応募するし、興味がない人は応募しないと思うので、対象範囲を絞る意味がないと思う。

(参加者)

- ・ 対象範囲を広くしすぎると、莫大な応募数になる可能性もある。

(教育委員会事務局)

- ・ 本日、義務教育学校を見据えた校名というところや、公募の対象範囲、子どものことなど、様々なご意見をいただいたので、それを踏まえ、次回ご提案させていただきたい。
- ・ 次回は本日の続きとなるが、今日の意見を反映した形で、募集要項などについて、事務局から案をお示しさせていただくので、ご意見いただければと思う。

(2) その他(今後のスケジュール等)

→資料に基づき説明。

3 次回の会議について

- ・第2回総務部会の開催日は、令和6年7月11日(木)午後7時からに決定。

4 閉会

以上